

令和3年度

事業報告書

特定非営利活動法人手話教師センター

2019年末に発生した新型コロナウイルスについて、変異株が出現する等、予断を許さない状況ではあるが、ワクチン接種及び感染対策に留意しながら、日常を取り戻す努力が各国で続けられている。

手話教師センターは、定期的開催する行事（定例会等）はすべてオンラインで実施することし、対面が必要な場合はコロナ感染状況をみながら実施することにした。

特記すべき事項として、令和3年度（2021年度）は「ろう通訳」元年であったということであろう。2020年に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックが2021年夏に延期されたが、開会式及び閉会式のテレビ生中継にろう通訳者が登場し、大きな話題となった。画面には出なかったが、ろう通訳者に音声情報を送る聴通訳者（フィーダー）の活躍も忘れてはならない。このろう通訳者及び聴通訳者は、ろう通訳者及びフィーダー養成講座の講師及び修了生であった。

1 事業の成果

【育成】今年度の定例会はすべてオンラインで行なった。オンラインによるメリットを最大限に活かすため、開催数を例年の4回から6回に増やした。試行錯誤の結果、ZOOMのミーティングでなくウェビナーで実施した。（第52回～第57回）△日本手話ブラッシュアップ講座はすべてオンラインで行なった。また、開催数も年4回から7回に増やした。うち1回は手話言語学の基礎的知識を学ぶ講座として実施した。関東以外の講師を起用し、地域色を出すことができた。また、講師に対しメンターによるフィードバックを実施した。△ナチュラル・アプローチ手話教授法講座を2年ぶりに開講した。基本的にオンラインで実施したが、模擬授業は対面で行なった。△ステップアップ講座は応募者が少なく、中止となった。

【研修】集中研修会を前期・後期に分け、オンラインで実施した。ZOOMのブレイクアウトルーム機能を活用し、グループ分けを行なった。参加者は前期・後期あわせて100人であった。△第21回日本手話教育研究大会をオンラインで2月に開催した。参加者は210名であった。△手話教師育成研修会は、年度末の3月にオンラインで実施した。エンパワーメントチーム（アドバンス plus 以上及び理事）23名が参加した。△自主研修会は0件であった。

【派遣】（株）アウトソーシングビジネスサービスダブルピーとは協力関係にあり、WP手話寺子屋講師はすべて法人に登録している教師が担っている。△企業、民間団体などへの講師派遣、登録手話通訳者研修会への講師派遣等を行なった。コロナ感染状況により講座が一部休講となるケースもあった。△個人レッスンについては、個人1件、大学教員2件である。

【開発】（株）アウトソーシングビジネスサービスダブルピーと契約中のDVDプロジェクトについては、

進行中のチームはいくつかあるが、DVD 発行には至らず、実績はゼロであった。△オンラインによる手話学習サイト「サインアイオー」の監修を行なった。

【翻訳】コミュニティ及び学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業（日本財団助成事業）は本年度で 2 年目を迎えた。オンラインで対応可能なものはオンラインで実施し、対面にした方がよいものは対面にする等、臨機応変に対応した。オンライン翻訳講座、通訳理論講座、ろう通訳者養成講座、リーダー養成講座を開講することができた。△オンライン翻訳講座は、Google の学習支援ツールであるクラスルームを活用し、9 クラス（1 クラスにつき翻訳課題 6 本、講座 6 回）、すべてオンラインで行なった。△通訳理論講座はすべてオンライン、ろう通訳者養成及びリーダー養成講座については、対面が必要な場面以外はほぼオンラインで行なった。ただ、昨年度（令和 2 年度）の当事業が 4 ヶ月延長となった関係で、ろう通訳者養成講座、リーダー養成講座への応募者が少なく、結果的に各 2 名となった。△ろう通訳者養成講座、リーダー養成講座の修了生を中心にした研修会において、医療、法律、コミュニティ、精神保健、翻訳に関する専門研修を行なった。各専門分野につき 5 回の研修を実施した。自発的な研修会は 13 回実施した。△通訳研修（通訳機会の確保）のための特別講演会を 2 回、実施した。通訳チームは会場に参集し、オンラインで配信する形をとった。△通訳 OJT プログラムとして、通訳 OJT を 10 件実施した。コロナのため激減した昨年より 9 件増えた。（OJT によらないが、手話教師センターが斡旋し、東京オリパラのテレビ生中継に通訳を付与した。ろう通訳者と聴通訳者の協働によるものである。）△学術分野におけるろう通訳者・リーダーの養成については、2022 年度の TISLR14 での通訳も視野に入れ、学術分野における専門研修を行なった。オンラインという特性を生かし、海外の専門家に講師として担当していただいた。国際手話、手話言語学、英語等で、全 30 回実施した。

【啓発】ホームページ、Facebook、ツイッター等で広報、啓発を行なった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【9,336】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
手話教師育成事業	定例会の開催	年 6 回	オンライン	15 名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	約 950 名	177
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年 7 回	オンライン	10 名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	約 460 名	843
	ナチュラルアプローチ手話教授法講座の教師派遣	1 講座	オンライン	3 名	手話教師をめざすろう者	10 名	507

手話教師 研修事業	集中研修会	前期 後期	オンライン	10名	手話教師	100名	288
	日本手話教育研究大会	年1回 2月	オンライン	15名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	約 210名	732
	手話教師育成指導者研 修会	年1回 3月	オンライン	2名	手話教師指導 者	23名	0
	メンター派遣	通年	オンライン	2名	手話教師	30名	170
	手話教師自主研修会	通年	-	-名	手話教師	-名	-
手話教師 派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	市民 手話学習者 手話通訳者	約 3,000 人	3,476
手話教授 法に関する 教材開 発事業	サインアイオーからの 業務委託	通年	事務所	2名	手話学習者等	約 200人	666
翻訳・通 訳に関 する事 業	手話通訳者の養成（ろ う通訳・フィーダー 等）	11月～5 月	オンライン	4名	ろう者 手話通訳者	71名	8,713 (総額)
	ろう通訳者・フィーダ ーの研修	通年	東京 オンライン	3名		約 約 500名	-
	通訳OJTプログラム	通年	東京・愛知 オンライン	3名	ろうフィ 通訳利用者 市民	600名	-
ろう者特 有の文化 に関する 普及啓 発事業	ホームページ、SNSの 運用	通年	事務所	3名	ろう者、聴者 等、一般市民 正会員・賛助 会員	約 100人	15

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)